

事前評価集計表

事務事業名称	6次産業化の促進
--------	----------

評価項目	指摘事項
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ● 厳しい経済情勢の中では、十和田市が主体となり実施していただくことは良いのではないかと。 ● 第1次産業活性化への取組として、本事業は妥当性が高い。 ● TPP問題で農業情勢は不安定であり、農家も大きな不安を抱えている。そのような状況の中で1次から3次産業までを一体化し農業の可能性・活性化を図る6次産業を推進していくことは重要であり妥当性は高い。 ● 地域再生策として重要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業経営者からすれば、生産だけの農業ではなく、加工販売までの流れが出来ればよいと思う。加工となるとどうしても設備費の負担が心配になると思うが、十和田市が加工拠点となることで波及効果は大いにありと考える。 ● 現時点での有効性は事業者の掘り起こしの段階であり、また、それぞれの事業者の状況により収益性も違うが、有効に働いている。 ● 市の特産品の開発、農業経営の改善等、地域産業の振興及び経済の活性化を図るための6次産業化の促進は極めて有効性が高い。 ● 市内に資金が回る、入ってくるようにする為にも、加工拠点施設整備の方策を早めに立ててもらいたい。 ● 地域内連携での6次産業に向けての取組みは有効である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状厳しいところもあるが、後継者づくりにも繋がる事業だと思う。また、他団体との連携強化を図りながら推進できればよいと思う。 ● 効率性は始めから容易ではない事業開発であり、それなりである。 ● 効率性は高いと思われる。 ● 広く市民へアピールしてはどうか。(発表会の開催等) ● 事業費や他の事務事業との統合・連携について検討する余地があるのではないかと。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業者に偏っているとは思いますが、農業者の後継者づくりも必要なことだと思う。ただ、農業者が生産から販売までとなると大変なことなので、コストを削減できる方法も考えながら、各分野との連携も検討してはどうか。 ● 基本は、事業者の自己責任の下に展開されており、公平性は担保されている。 ● 特定の農業法人や企業等だけでなく、広く市民に呼び掛けて事業を推進しているため、公平性は問題ない。
事業の方向性	<p><input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化を図る(5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この事業がうまくいけば、後継者づくりや定住人口にも繋げていくことが出来るのではないかと。 ● 市の基幹産業は農業であり、農業が活性化しないと市の発展は望めない。市の特産品に付加価値をつけ販路を拡大していくことは市の重要課題でもある。6次産業化の推進は課題が山積されているようだが、積極的に取り組んでもらいたい。 ● 認定された事業者は成果をあげつつあるようなので、このまま頑張ってもらいたい。 ● 関心があってセミナー等に参加した人々の認定事業者への育成、あるいは連携を考える場を活性化し、形にしてもらいたい。 ● 加工拠点施設が整備されるとコスト削減につながると思う。 <p><input type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有効性を改善して継続(1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業振興の一貫として、不可欠であるが、地域の特色をどの様に出すかは難しい企画力だと思われる。 <p><input type="checkbox"/> 効率性を改善して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 公平性を改善して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 事務事業の統廃合を図る</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p>
その他、質問・提言等 (活動指標、成果指標の設定の仕方について等)	
<ul style="list-style-type: none"> ● 農産物の特色と外食・中食産業に食い込める様な6次産品の開発が望まれる。 ● 六戸町の大曲試験場は利用できないのか。 	